

令和元年度 第2回松江市公共交通利用促進市民会議

1. 日 時 令和元年8月22日(木) 15時30分～17時00分

2. 場 所 松江歴史館(歴史の指南所)

3. 出席者

(1)委員 内藤光子、村松利恵、小数賀安富、畠谷昭、長野正夫、家島滋、近藤達郎、曾田徹(代理)、伊藤竜男(代理)、万代悦子、飯野公央、浅田純作、秦日出海、梶谷彰宏、船越哲也、藤原誠、植弘華奈江(代理)、山崎浩、鬼村まり子(代理)、佐々木克典、森原透

(2)事務局 歴史まちづくり部長次長(交通政策課長) 比田誠

歴史まちづくり部交通政策課

交通企画係長 佐藤広樹

バス交通係長 石津宏明

バス交通係 安部、中島、吉原、田中

4. 内容

1 開会

2 飯野会長あいさつ

3 議事

報告事項 (1) 走行環境改善部会の活動報告について

協議事項 (1) 第11回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施計画(案)について

(2) 乗車マナーの啓発(案)について

4 その他

(1) JCOMM松江大会の開催について

5 閉会

5. 会議経過

1. 開会

【比田歴史まちづくり部次長】

定刻になりましたので、令和元年度第2回松江市公共交通利用促進市民会議を開催いたします。本日の会議の出席状況でございます。お手元の名簿のとおりであり、過半数以上の委員にご出席いただいておりますので、設置要綱第8条2項に定める定足数を満たしておりますことをご報告いたします。また、一般社団法人島根県旅客自動車協会において、役員の交

代があったことに伴い、選出される委員に変更の届出がございました。旧任の眞田委員に代わり新たに、秦専務理事を選出いただいておりますので紹介申し上げます。

それでは飯野会長よりご挨拶をいただいた後、議事進行をお願いいたします。飯野会長、よろしくお願ひいたします。

2. 飯野会長あいさつ

【飯野会長】

皆様こんにちは、台風が去っても中々涼しくなりません。松江市では「うちわプロジェクト」を実施中ですが、市内を歩く人の中で、レイクラインのうちわが役に立ってくれていればいいなと思っているところです。そのような報告がこの後にあると更にうれしいと思うところです。

さて、今日のニュースで2028ロサンゼルスオリンピックについて報道されていました。ご承知の通りアメリカは経済が絶好調です。ただ、ロサンゼルスはIT企業が集積しており、大変人口が増え、同時に車も増加し、朝夕のラッシュはかなり激しい状況です。地下鉄もありますが、人口が増えているのに利用者が減っています。これではオリンピックで困るということで、今から対策が施されるようです。マイカーを減らし、地下鉄利用へシフトを図るもので、民間の力を借りたライドシェアと公共交通をうまくつなげて、少しでも交通渋滞を減らすため、今から取り組みが始まると니다。

交通の問題というのは、先進国共通の大きな問題であるということです。日本も東京オリンピックがありますが、どうやって人の輸送を考えるか非常に大事になってきます。松江市の公共交通対策についても引き続き皆様と一緒にになって考えていきたいと思います。それでは早速、会議に入ります。

3. 議事

公開・非公開について

【飯野会長】

まず初めに、本会議の公開・非公開について伺います。事務局において、本日の会議で非公開とすべき案件等はありますか。

【比田歴史まちづくり部次長】

ございません。

【飯野会長】

では、松江市情報公開条例並びに松江市公共交通利用促進市民会議設置要綱第8条第4項の規定に基づき、公開により行いたいと思いますが、異議はございませんか。(異議なしの声)ご意義ありませんでしたので、この会議は公開により行います。

報告事項に入る前に、委員の皆さんにご提案があります。退任された眞田委員には、走行環境改善部会の部会長をお願いしていました。各部会の部会長については、松江市公共交通利用促進市民会議設置要綱第10条第2項により、会長が指名することとなっています。

走行環境改善部会は、バス事業者、行政がバス路線の走行環境の改善を図ることを目的としており、事業者・行政両方の立場をよく理解されている島根県旅客自動車協会の秦委員にお願いしたいと考えています。皆さんいかがでしょうか。

(承認)

では、秦委員よろしくお願ひいたします。

報告事項(1) 走行環境改善部会の活動報告について

【飯野会長】

それでは「報告事項(1) 走行環境改善部会の活動報告について」を秦部会長より報告をお願いします。

【秦委員】

走行環境改善部会は、平成20年度から走行環境の改善に取り組まれ、道路管理者や警察の方々と一緒に真摯に対応していただいている。全国でも先進的な取り組みだと認識しております。今年度の部会の活動ですが、路線バスタイプの車両に乗車して、実体験をしながら事業者からの要望箇所や、改善された箇所の現地調査を実施しました。活動の詳細説明は事務局にお願いしたいと思います。

【事務局：安部】

走行環境改善部会の活動報告について資料1～3を基に説明。

【飯野会長】

ありがとうございました。事務局から走行環境改善部会の活動報告についての説明がありました。皆さんからご質問やご意見があればお願いします。

【石津バス交通係長】

松江駅の構内において横断歩道ではなく、バスの走行レーンを横切って中央の待合所に行く事例が見かけられます。この防止策がないかということで、平成20年、部会が始まった時からお話をいただいているところです。柵を設けてはどうか、ということで検討はしていますが、予算の都合等で未だ設置には至っておりません。とりあえず出来ることからしてみようということで、例えばですが、今年の交通安全運動に併せて駅前等で「危険ですので横断を控えてください。」ということが周知できないかと考えています。実施方法については、施

設の管理者や警察の方と協議しながらになると思います。ご意見があればお願ひいたします。

【飯野会長】

ありがとうございました。バスロケーションシステムが未設置であることから、どのバスが何分後に入ってくるという合図がありません。自分の乗りたいバスが来ると、慌てて最短距離で渡ってしまうというケースがあり、ドライバーからすれば大変危険な行為であります。どうやって解消するか長年の悩みになっています。

前回の会議の中でバスロケーションシステムが近々導入されると伺っています。そうなるとこのような危険性はかなり減少するのではないかと思います。それまでの間、危険防止のための啓発活動を実施したいということでございます。これについて意見はございませんか。

私も時々、渡りたい衝動に駆られることがあります。気持ちは分かるのですが、バスの本数も少ないとから、一本逃すと次の便まで大変時間が掛かるからつい、渡ってしまうということだろうと思います。

バスの中に無線がありますよね、あれで声を掛けることができますかね、(難しいの声あり)

【事務局：安部】

先ほど会長からバスロケーションシステムの話題が出ましたので、現在の状況を少しお話したいと思います。例えば松江城に行くために駅舎側の1番から3番乗り場で待っていた方が、先に6番乗り場に鹿島方面のバスが来た場合、慌てて渡って乗車するというケースがありました。特にバスに不慣れな方、観光客の方、どの乗り場に先行してバスが来るのか分からぬところがあります。

バス事業者を中心に設置する新たなロケーションシステムでは、松江駅の乗り場から出たところに総合表示用の大型のモニターを設置します。松江城方面であれば、何番乗り場が先に出ます、というように実際の遅れが反映された出発時間の案内表示が可能となります。

来年3月末には完成する予定です。委員の皆様には、是非注目していただき、完成を楽しみにしていただきたいと思います。

【飯野会長】

ありがとうございました。楽しみですね。説明のあったシステムが設置されるまでの間、秋の交通安全運動に併せ、啓発活動にも取り組んでいきたいと思います。また、走行環境部会の活動をもっと市民の皆さんに知ってもらう必要があると思います。今後は周知の仕方についても考えていきたいと思います。

協議事項(1) 第11回松江市一斉ノーマイカーウィーク実施計画(案)について

【飯野会長】

それでは続いて「協議事項(1) 第11回松江市一斉ノーマイカーウィーク実施計画(案)について」を事務局より説明をお願いします。

【佐藤交通企画係長】

ノーマイカーウィーク実施計画(案)について資料 4-1、4-2 を基に説明。

【飯野会長】

ありがとうございました。皆さんからご質問ご意見があればお願ひします。大分先のことだと思っていましたが、あと 2 ヶ月ほどになりました。新規事業の中で車内での広告掲載がありますがこの件はどういう状況ですか。

【佐藤交通企画係長】

現在バス事業者と頭出しをしており、今後詳細を詰めていきたいと思っています。時期的に有料の車内広告が入ってくると中々難しい点があることから、細かな点を詰めていきたいと考えています。

【飯野会長】

交通局さんも一畠バスも方向的には、実施するということでよろしいですか。

【佐藤交通企画係長】

はい。

【浅田副会長】

例年ですと、バス停の清掃活動のように市民会議の中で、皆さんに協力や参加を呼び掛けたりしています。今年の計画でもチラシ配布とかあるのですが、参加を呼び掛けるようなものがあれば教えていただきたい。委員の皆さんよろしくお願ひします。

【石津バス交通係長】

現在予定しているものはありません。部会長は本日欠席ですが、相談させていただいて皆さんに声掛けをさせていただきたいと思います。

【家島委員】

ファミリー層への働きかけにある「駅サイトまつり」についてですが、これは平田駅で開催することに意味があるって、松江しんじ湖温泉駅でやることはあまり意味がないというような扱いなのでしょうか。

【山崎委員】

「駅サイトまつり」は、10 月 14 日前後の「鉄道の日」に併せ、平田駅を中心に開催しております。平田には、本社をはじめ車両基地、工場のほか子供たち向けの鉄道模型を動かしてみる施設等すべて集中しております。普段見ることができないところまで来場者の方に見

ていただこうということで、平田での開催としております。

近年は、平田商工会議所と地元商店がタイアップし、規模を大きくしているのが実態です。松江市での開催ができないわけではありませんが、多くの施設が集積している平田での開催がよりお客様にも喜んでいただけると考えます。

【内藤委員】

折り込みチラシで「駅サイトまつり」のイベント案内を見かけます。その日に行っていっぞいで乗れないのではないかと思ったり、500円で乗り放題というのも乗ってみたいなと思いますけど、満員だったらどうしようと思ったりしてなかなか行くことができません。

【山崎委員】

各種イベントや、大人500円、小人250円と安価で全線ご利用できるということで、開催日は多くの方に来場していただいている。

座れるという保証はできませんが、鉄道の車両というのはバス等と違って大きな定員数が設けてありますので、乗れなかったということは過去にありませんでした。3年くらい前に実施した年1回の無料デーにおいて、乗車をお断りしたことがありますが「駅サイトまつり」ではそういうことはありません。

【飯野会長】

今ふと思ったのですが、「バスまつり」が来月あります。結局、新聞報道により記事が出るので、なんとなくそれで結果報告になっているのではないかと感じます。

イベントが終われば主催者側で、1分から1分半程度の動画をYouTubeにアップする。「昨年はこのような状況でした」と状況が分かるものがあれば、初めての人も行ってみようという気になるのではないでしょうか、

今年の「バスまつり」からやってみましょう。駅サイトまつりも山崎さんやってみましょう。もしかすると、好きな人がすでにアップしているかもしれません。確認してもいいですが、主催者側が撮れば見どころとか発信できますので、プライバシーの配慮もありますが、そういう情報を流していくことも大事なことだと思います。一畠電車さんもぜひ検討してみてください。

次に雨天時の路線バス利用についてですが、先ほど女子高と話し合うという話がありましたが、協議の状況はいかがでしょうか。

【佐藤交通企画係長】

女子高に対してこちらの趣旨説明を終えており、明日、詳細を詰める予定としています。バスの乗り方教室とか継続して実施しておりますが、高校生向けの乗り方、お得な情報、マナーの問題に加えて、現状の路線バスの厳しい現状、利用促進等も含めて話ができればいいなと思っているところです。雨天時の利用についても、例えばということで話を進めて行け

たらと思っているところです。

【飯野会長】

取り掛かりとして、女子高にアプローチしているということで、いずれは市内の各高校に
対して啓発活動を実施していくということですか。

【佐藤交通企画係長】

そうです。今年実施してみて、反省点等を含め課題を抽出して、来年度どこで実施するか
など考えていきたいと思います。

【飯野会長】

気になるのは、松江市内の高校の学区制度が 2 年後に廃止となります。そうなるといろいろな地域から各高校へ行けることになります。そういうことも含めて今後の作戦を考える必要があります。

【佐藤交通企画係長】

学区制の問題につきましても研究しておきたいと思います。

【飯野会長】

「バスまつり」に関する話題はありますか。

【佐藤交通企画係長】

「バスまつり」自体の話ではありませんが、この後マナーについて協議をさせていただきます。その中で触れさせていただきますが、今年の「バスまつり」は 9 月 22 日開催です。毎年 3,000 人を超す来場者がいらっしゃいますので、市民会議ブースも設けてノーマイカーヴィークなど市民会議の活動を PR することにしています。今年は乗車マナー向上を図る企画を実施したいと考えています。詳細についてはこの後、説明させていただきます。

【飯野会長】

今年の「バスまつり」は目玉というか、今回はこれまでと違う企画、期待して欲しいよう
なことがあればお願いします。

【藤原委員】

期待にそえるかどうか分かりませんが、今回は自動車学校の教習車を使って、バスに乗ったことがない人に運転体験をしていただきます。これなら自分も運転手になれる、ということで乗務員不足を解消に向けた試みを行います。それから展示しているバスへの乗降に加え、
限定的に車内放送を鳴らしてみたいとも考えています

乗務員不足でございますので、少しでも人員確保につながればと思っているところです。また、車内事故防止についてのお話を自動車事故対策機構（NASVA）の専門講師にお願いしているところです。

【飯野会長】

毎年、新聞記事に「こんなまつりがありましたよ、子供たちが楽しみましたよ」といった記事が掲載されます。悪いことではありませんが、こちら側がもう少しリードする必要があります。いろいろな取り組みをして「バスまつり」が開催されるということで、少しでも市民の皆さんに关心を持っていただきたいと思います。

それでは、以上のような形で今年度の松江市ノーマーカーウィークを進めていきたいと思いますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いします。

協議事項(2) 乗車マナーの啓発(案)について

【飯野会長】

それでは続いて「協議事項（2）乗車マナーの啓発(案)について」を事務局より説明をお願いします。

【石津バス交通係長】

乗車マナーの啓発(案)について**資料5**を基に説明。

【飯野会長】

マナーは大切なことですが、突き詰めると難しいものです。それにあえて取り組もうということで、「バスまつり」において意識調査を行ってみるということです。具体的に調査はどのようにして実施するのでしょうか。

【石津バス交通係長】

まだ詳細は詰めていませんが、記入式のアンケートは、お客様の足を止めて長い時間を取りことから避けられる人が出てきます。例示的に写真とか周知案をお示しして、これについてあなたはどう思いますか、と問い合わせを行い○×のシールを張っていただこうと考えています。

視覚的にも皆さんがどう考えているか、分かりやすいように行いたいと考えています。まだ具体的にどの写真を使うとか、どんな項目にするか検討している最中です。何かご意見とか、こういうシチュエーションについても調べては、ということがあれば取り入れたいと思いますので、ご意見をいただきたいと思います。

【飯野会長】

よく街頭調査で、思う方にシールを貼ってください、という具合にやっています。分かり

やすくていいですね。

松江の場合、両替のタイミングについて結構迷います。信号の長さがある程度分かっている所で止まると、ここなら大丈夫となります。運転手さんによっては、このタイミングで両替してください、と言われて安心して両替することができます。全員が全員ではないですが、その辺がなかなか難しいところです。

【浅田副会長】

そもそも両替自体の仕方が分かっていない人もいます。1,000円札が使えるのかと悩む人もいます。

【畠谷委員】

私はこれまで車中心でしたが、最近はバスを利用するようになっています。障がい者に対してバスへの乗降に対応していただく運転手さん、やさしい言葉と細かな配慮など大変ありがとうございます。乗客の方も障がい者に対して、席を譲るマナーの良さに大変感謝することもあります。そのようなマナーについてしっかりと対応する必要があると思います。

「バスまつり」のときに、車イスの人を想定して実際に乗車する場を作っていくと、運転手さんが日頃頑張っている姿勢を感じてもらえると思います。乗車中にやさしく声を掛けられる運転手さんもいらっしゃいます。私自身、親切な対応にバスに乗って良かったと思うこともあります。

【飯野会長】

私も松江に来て車イスで乗車される方を2、3度見かけました。バスが止まってから乗車されて発車するまでの時間を計ってみたところ、速い方は2分できちんと対応されます。5分位かかると思いましたが、速さにびっくりしました。そういうことが分かると、一般の乗車されているお客様も車イスの乗車に若干の時間がかかるても気にされないと思います。そういうことが大事だと思います。

「バスまつり」の際に、ステージ上のバスを使用して、車イスでの乗車を見てもらってはいかがでしょうか、見たことない方がほとんどだと思うので、車内の席のレイアウトもこのように変わるんだ、ということで、いいアナウンスになると思います。

【藤原委員】

現在、「バスまつり」に向けて人員の配置を検討しているところです。先ほどの提案について「やります」という即答はできませんが、そのようなご意見があったということで持ち帰らせていただきます。

【飯野会長】

直接その場で実演しなくとも、事前に映像を撮っておいてスクリーンに流すこともできま

す。いろいろな情報提供ができると思います。そういう意味でいろいろな不安とか、乗客もそうですし、車イスの方の不安も払しょくできると思います。そのような情報共有をぜひやってみたいと思います。

【村松委員】

先ほど優先席についての話がありました。実際に優先席とされている場所に座っていいのかなと思いながら座ったり、両替についてもどのタイミングなのか分かりにくいくことがあります。モニターを設置し、そういう情報を流すとか、マナーとはこういうものですよ、ということを教えていただくと安心して乗れるようになると思います。

実際に誤解されている人が、そこに座ってはいけませんよ、と言われ、あっすみません、となってしまうので、優先席の利用の仕方が分かる情報などを例示していただければ安心できると思います。

【飯野会長】

ありがとうございました。今回のアンケート調査では、現段階で皆さんがどのように思っているか調査してみようということです。それをベースにしながら松江らしいルールというものが浸透できればいいと思います。

【家島委員】

私は、南高八重垣線というのですか、松江駅とか淞北台方面へのバスを利用しています。夕方、南高の前あたりは空いているので、高校生がたくさん乗り込んでこられます。ちょっとこれはどうなのかと思うことがあります。優先席に女子の友達同士が固まっておしゃべりしています。私が途中から乗ると、後ろの付近にしか空席がありません。わたしはまだ歩けるからいいのですけど、後から乗車された足の弱い人、高齢の女性の方ですと、そこは優先席だから変わってくださいとか、自分ではなかなか言えないことから、ゆっくり歩いて空席のある後ろの席に座られ、大変気の毒に感じます。

高校生に優先席の考え方として「空いているから座っていい」というよりもむしろ、優先席は、足の悪い人や高齢者の方、妊婦さんのために基本的に空けておくべきだと思います。元気な人は後ろの方とか、高くなっている席、運転席のすぐ後ろの席から詰めていただくようなルールを作るとよいと思います。

後から乗った人が優先席を空けてください、というのは、強烈な心臓の人でない言いにくいことです。マナー教室等での優先席の考え方のときに、周知徹底していただくと良いと思います。

【飯野会長】

私も同じことを思ったことがあります。誰でも早く降りたいということから、出口に近いところに座りたいものです。そういう時に高齢者の方がつらい思いをすることになります。

どこに席を取るかについては、非常に大事な視点です。周りの人を気遣って席を取ることが、とても大事なことになります。

【畠谷委員】

私たち障がい者の視点では、運転手さんから丁寧に声を掛けていただくと、とても気持ちが良いものです。降りるときに、こちらからもお礼を言うようにしています。マナーの問題は大変大事なことだと思います。

4. その他

【飯野会長】

それでは続いて「その他について」を事務局よりお願いします。

【石津バス交通係長】

JCOMM 松江大会の開催について資料6を基に説明。

【飯野会長】

私も開催に関わっていますが、年1回全国から多くの方が参加し、様々な取り組みに関する問題について、試行錯誤した結果を持ち寄って事例発表が行われます。松江市での取り組みの上でも大変参考になる大会です。近づけば協力をお願いするようになります。よろしくお願いします。

【佐藤交通企画係長】

追加で2点ほどお話をさせていただきます。

1点目はうちわプロジェクトについてです。今年度の実施状況でございますが、前回の市民会議の翌々日から配布を始めています。うちわは当初2,700～2,800本からスタートしました。大変な猛暑であったことから好評であり、そろそろ底をつきそうだという連絡を受けまして、賛同いただいた企業から何度も追加でいただいたところです。暑さもピークが過ぎましたのでそろそろ終盤となるところです。昨年が2,750本でしたが、今年は3,000本を上回る見込みです。

2点目は、中海・宍道湖・大山圏域の市などが中心となって活動を行っている新幹線の取り組みについてです。岡山を起点とする伯備新幹線は現在、基本計画となっておりますが、これを整備計画に上げるための総決起大会を10月20日に安来市で行います。

大会に併せ、先ほど話のあったJCOMMの会長である京都大学大学院の藤井先生の講演も予定しています。10月20日午後、安来市アルテピアを会場として開催します。1,000人程度は入れる会場ですので、ぜひ委員の皆様にも参加していただきたいと思います。改めてご案内をさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

【飯野会長】

そのほかに何かありますか。

【藤原委員】

皆様のお手元にクリアファイルを置かせていただきました。交通局は今年創業 90 周年を迎えるということで作成いたしました。秋には特別ツアーを企画します。また、年度末には新車 4 台を購入しますので、そのうちの一台を昭和のカラーで再現しようと考えています。

【山崎委員】

一畑電車では、台湾の鉄道管理局と 4 月に友好協定を結ぶことができました。すでに台湾の方と乗車券の相互交流も実施しております。5 月から 7 月のところで台湾の方 130 人以上の方がご使用されております。逆に日本の方の台湾での使用が少ない状況にあります。一畑トラベルサービスではこの友好協定を記念した台湾ツアーを企画しています。10 月 3 日から 6 日までの 4 日間、価格は 15 万円弱の設定となっています。

協定を締結したことで弊社だけでなく松江市、出雲市などの県東部における経済効果も期待できると考えていますので、ぜひツアーの方への参加も検討していただきたいと思います。

【飯野会長】

それでは、以上で本日予定していた議題は全て終了しましたが、全体を通じて何かあればご発言をお願いします。・・・・・無いようですので進行を事務局へお返しします。

5. 閉会

【比田歴史まちづくり部次長】

飯野会長には、スムーズな議事進行をいただきありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和元年度第 2 回松江市公共交通利用促進市民会議を閉会します。ありがとうございました。

6. 所管課等

松江市歴史まちづくり部交通政策課

電話 0852-55-5661